

岩手・宮城内陸地震に伴う土砂災害緊急点検調査、及び報告会について

調査期間：平成 20 年 6 月 15 日から平成 20 年 6 月 18 日

メンバー：副所長 谷田良三
調査品質確保課長 永井健二
調査係長 荒木孝宏
運転手 奥村伸重

目的：岩手・宮城内陸地震により岩手県、宮城県内各地でがけ崩れ等の土砂災害が発生し被害が生じている。今後も余震や、梅雨期の降雨等により新たにながけ崩れ等の土砂災害発生危険性が高いことから、早急に人命等に影響をおよぼすおそれのある土砂災害危険箇所等を点検し、2 次災害防止に役立てることを目的とし実施するもので、両県知事からの依頼によるものである。

対象区域：震度 6 弱以上の地域で危険箇所数は 1 0 7 3 箇所
富士砂防事務所を含む中部地方整備局は、宮城県栗原市栗駒町の 117 箇所の点検を担当
※ 18・19 日は震度 5 強の地域に調査区域を拡大して実施

体制：全体で 32 班 120 名
中部は 4 班 16 名

調査結果：富士砂防担当箇所
土石流危険渓流 27 渓流、急傾斜地 3 箇所、地すべり地 1 箇所、計 31 箇所

経過：14 日 13:02 中部地整より派遣編成情報が入る
隊員への連絡
17:30 富士砂防班編成確定
出発準備等
15 日 0:10 富士砂防発
7:30 一関出張所着
10:10 全体説明会
冬柴大臣訓辞
12:00 中部地整による調査範囲調整
13:15 現地調査へ発
19:45 本部報告（初日）終了
16 日 現地調査及び本部報告（二日目）
17 日 現地調査及び本部報告（三日目）
18 日 帰路

岩手・宮城内陸地震に対する緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣に係る地方公共団体等への報告会

日時：平成 20 年 6 月 19 日 16:30～17:15

場所：富士砂防事務所 1 階「あまつばめ」

参加団体：静岡県富士土木事務所、富士市、富士宮市、芝川町、由比町

富士砂防派遣隊 現地調査状況写真(H20.6.15~H20.6.17)



自衛隊臨時ヘリポート



消防、自衛隊支援拠点



TEC-FORCE拠点



応急危険度判定士との情報交換



栗駒ダム下流部



山腹崩壊状況



市道落石状況



さんはさまがわ

三迫川河道部分閉塞状況



市道崩落状況

富士砂防派遣隊 現地調査状況報告会(H20.6.19)



全体概要説明



スライドによる現地状況写真説明